

詳説世界史講義①

～2025年～

2学期 第8講①
帝国主義時代の欧米列強
の動向と世界大戦前夜

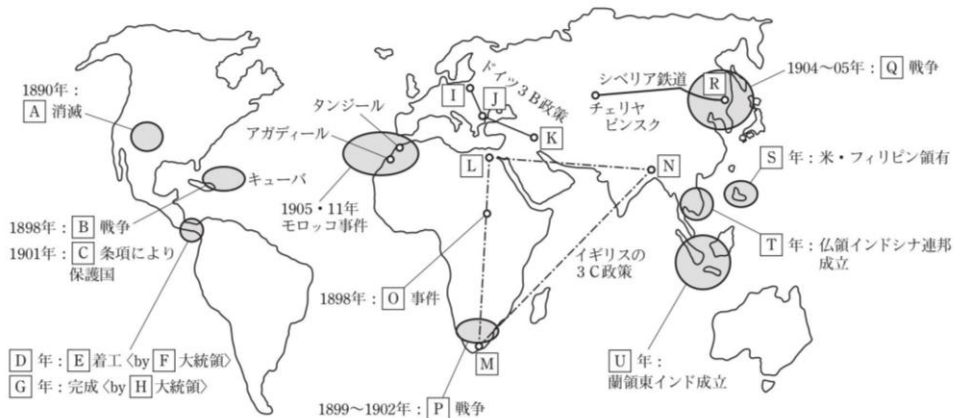


§32：帝国主義時代の欧米諸国の動向

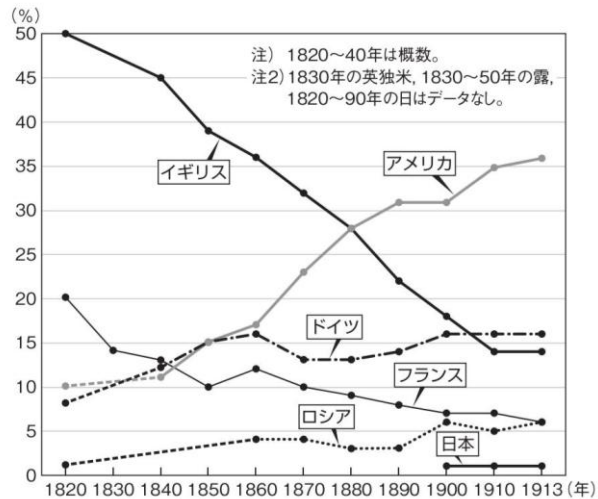
① 帝国主義の概念

- [意味] ①国家的膨張主義による世界分割
 ②資本主義の高度に発達した段階（＝レーニン『帝国主義論』1917より）
- [特色] ①金融資本（銀行資本+産業資本）の支配（←第2次産業革命〔重化学&電機工業〕による企業集中）
 ②資本輸出…余剰資本を後進地域へ投資
 ③植民地獲得競争…余剰資本の投下先・原料供給地・製品市場としての植民地
- [問題点] ①帝国主義相互の植民地獲得争い⇒世界分割・再分割
 ②社会主義運動の展開（←労働者の犠牲に対抗する社会主義勢力の伸長）
 ③植民地における民族主義運動の展開（＝後進地域の反植民地運動）
- *帝国主義時代～WW I 直前まで…「現代大衆文化」&「ベルエポック」&「移民の世紀」

■ 帝国主義時代と世界政策



■ 工業生産に占める各国の割合



⑧帝国主義時代の労働運動 *1870年代以降の世界的な不況から生まれる！

[英] ①民主連盟 (1881) (1884年に「社会民主連盟」に改名)

= ハイन्दマン, W.モリス (工芸家) … マルクス主義

② ① (1884) = ウェップ夫妻, B=ショー (劇作家) … 社会民主主義

③独立労働党 (1893) = ケア=ハーディ, マクドナルド … 社会民主主義政党

→ ①+②+③=④労働代表委員会 (1900) … 書記長マクドナルド

→ ④-①= ② (1906 … 議会主義に基づく漸進的社会主义を目指す！)

[仏] 1895年: フランス労働総同盟 (CGT) 結成 … 「サンディカリズム」(議会主義否定・直接行動による革命の実現)

1901年: 急進社会党結成 … ドレフュス事件を契機にしての進歩的共和派勢力の結集

1905年: ③ 結成 … 第2次インターナショナルのアムステルダム大会において結成

[独] ①全ドイツ労働者協会 (1862) <ラサール派> } ③ドイツ社会主義労働者党 (1875)

②社会民主労働党 (1869) <ベーベル派> } (世界初単一社会主義政党, ゴータ綱領を採択)

1878年: 社会主義者鎮圧法の制定で, ③の政党は非合法化される！

90年: ④ の再結成 (← ビスマルク失脚) … エルフルト綱領採択 (マルクス主義)

96年: ⑤ (議会主義による社会改革実現) を主張 … ベルンシュタイン

*1889年に結成された「第2インターナショナル」の中軸的な役目を果たす…

[露] 1903年: ロシア社会民主労働党結成

→ ロンドンでの結党大会において, 「ボリシェヴィキ」と「メンシェヴィキ」に分裂

①ボリシェヴィキ <レーニン・トロツキー>

②メンシェヴィキ <ブレハーノフ (社会主義の父)・マルトフ>

③社会革命党 (エス=エル) (1901) … ナロードニキの流れをくむ <ケレンスキー>

④立憲民主党 (カデット) (1905) … 有産階級中心

[米] 1886年: ⑥ 結成 … 熟練労働者中心, サミュエル=ゴンパーズ指導

1905年: 世界産業労働者同盟 (IWW) 結成 … 未熟練労働者中心, サンディカリズム的な志向

㉔イギリスの帝国主義

*植民地不要論 (コブデン・ブライトらの提唱) *「世界の工場」⇒「世界の銀行」(㉗ の繁栄)

- ① ディズレーリ (保) … 75年: ㉘ 会社株買収 77年: ㉙ 成立 78年: ㉚ 領有
- ② ソールズベリ (保) … 87年: イギリス植民地会議 (自治領の承認) 99～02年: ㉛ 戦争
- ③ アスキス (自由) … 11年: 議会議法・国民保険法の制定 14年: アイルランド自治法の通過… WW I で延期
- ④ ロイド＝ジョージ (自由) … 16年: イースター蜂起⇒シン＝フェイン党の支持拡大 17年: ㉜ 朝と改称

㉕フランスの帝国主義

*1875年: 第三共和国憲法制定 (1870/71～1940: 第三共和政)

1887年: ブーランジェ事件 92年: パナマ運河汚職事件 (⇒1902年: 採掘権はアメリカへ)

94年: ドレフェス事件 (× ㉝ (自然主義作家))

⇒ 第1回 ㉞ 会議 (97年 by ヘルツル ×反ユダヤ主義)

@スイスのバーゼル *ロシアでは“ボグロム (ユダヤ人への集団迫害)”が行われていた…

⇒ 1905年: ㉟ 法の発布

㉖ドイツの帝国主義

1871～90年: ビスマルク外交… (狙い)

★1

1888年: ヴィルヘルム2世の即位 (海軍の大拡張＝建艦競争) ⇒90年: ビスマルク辞職

1890～14年: ヴィルヘルム2世外交… (狙い)

★2

ビスマルク外交から
ヴィルヘルム外交へ
の変化

- ① 独露再保障条約更新拒否 (⇒露仏接近) ② 3 B政策 (㉟ 鉄道敷設: 1899年～)
- ③ 艦隊法 (×英 by 海相ティルピッツ) ④ 第1次・第2次モロッコ事件 (*タンジール・アガディール事件)

㉗アメリカの帝国主義

*1882年: 中国人移民禁止法 ⇒新移民の流入 1890年: フロンティアの消滅を発表

① マッキンリー (共和) … 「 ㊱ 」のはじまり

98年: アメリカ＝スペイン戦争 (←キューバの独立運動 by ホセ＝マルティ & メイン号爆沈事件)

⇒パリ条約 (キューバ独立 ⇒ 米の保護国化, ㊲ ・グアム・プエルトリコを西 ⇒ 米が獲得)

*ブラット条項… キューバ外交権の制約, 海軍基地建設権, 内政干渉権など

98年: ハワイ共和国を併合 99年・1900年: 門戸開放宣言 by 国務長官: ㊳

⇒ 93年に王政廃止 ① 門戸開放 ② 機会均等 ③ 領土保全

② T＝ローズヴェルト (共和) … 「 ㊴ 」(棍棒を手に, 話は穏やかに)

04年: ㊵ 着工 (～14年: 完成) 06年: ノーベル平和賞受賞 *革新主義 (反トラスト法)

③ タフト (共和) … 「 ㊶ 」

11年: スタンダード石油会社 (石油王: ロックフェラー) の解散

④ ウッドロー＝ウィルソン (民主)

… 「 ㊷ 」(アメリカの理念に導かれるならば, 資本主義・民主主義体制ができる)

14年: クレイトン法 (「新しい自由」×革新党) 14年: ㊸ 完成 17年: WW I へ参戦

世界三大運河



その他: コリント運河・京杭大運河



レセップス

⇒ **1880年**: パナマ運河着工
88年: 宝くじ付き債券発行
89年: 運河会社の破綻
92年: 収賄・詐欺容疑



エッフェル

1858年: スエズ運河株式会社設立

59年: スエズ運河着工

69年: スエズ運河完成

75年: エジプト政府保有株を **英**へ売却

44%

首相 **ディズレーリ**

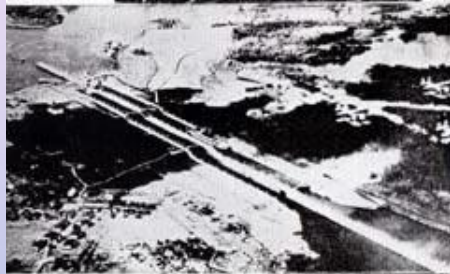
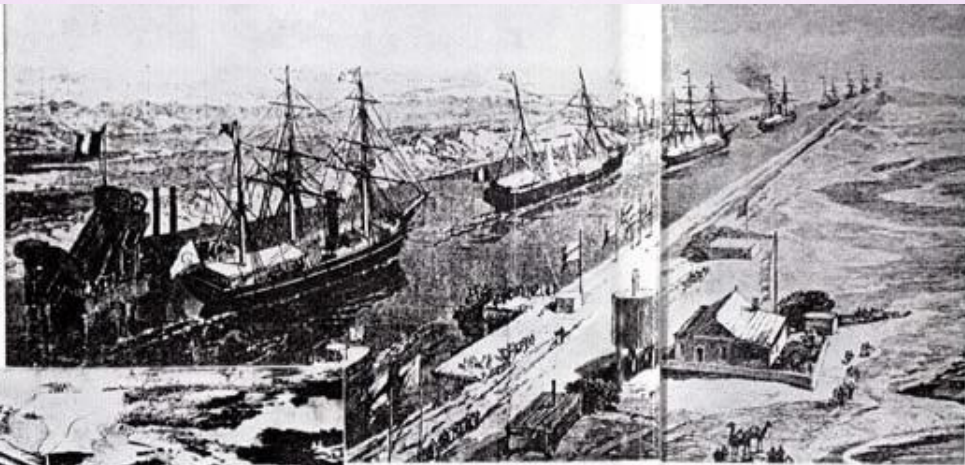
⇒ 82年英軍の駐屯(保護国化)

1952年: **エジプト革命** … 英軍撤退

56年: **運河国有化宣言** (通行税をとる) → 第2次中東戦争 (**スエズ戦争**)

スエズ運河 の開削

スエズ運河の開通式の有様



空から見たパナマ
運河のガトウン水門



空から見た
スエズ運河の様子

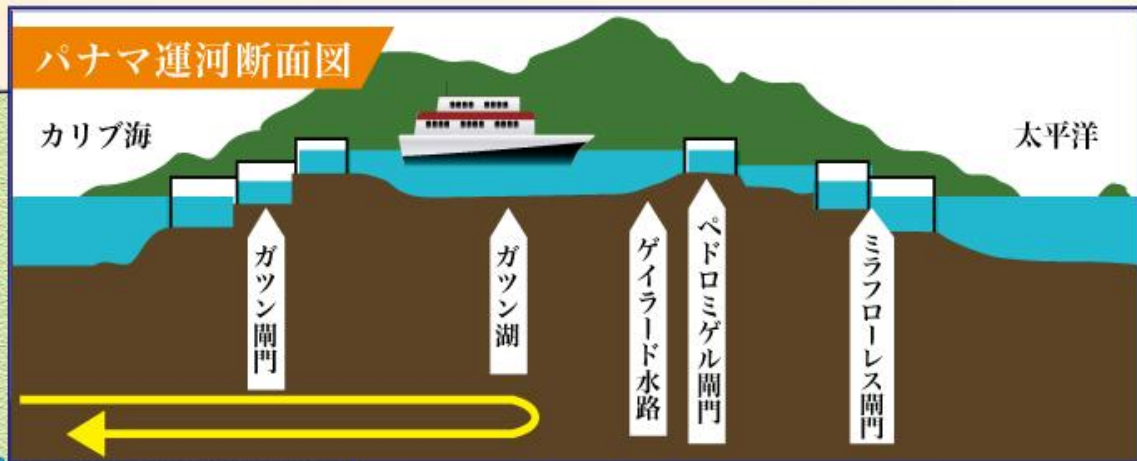
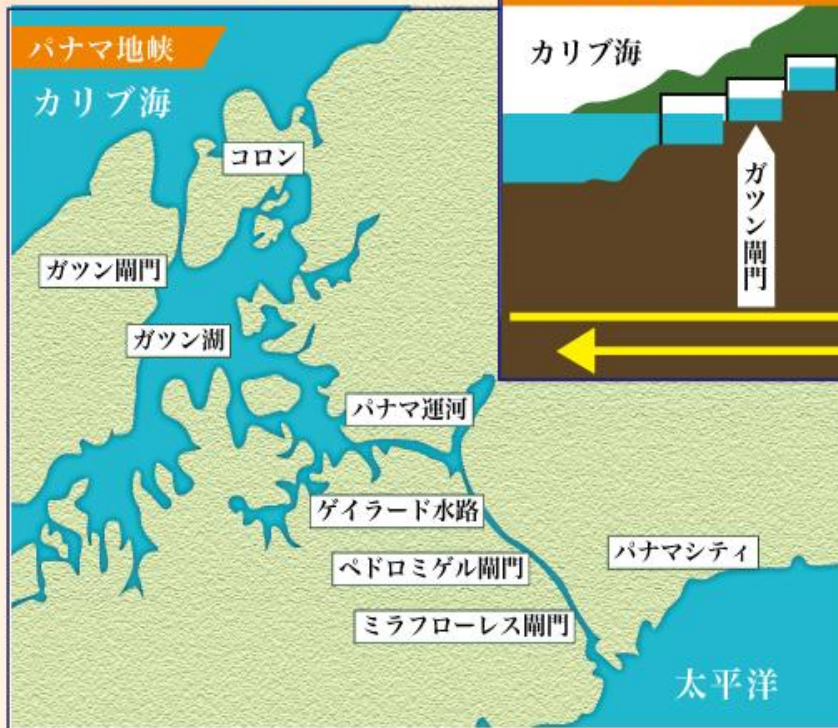




パナマ共和国と パナマ運河



パナマ運河とは



旧運河を通航可能な船舶は、全長294m、全幅32.3m、喫水12mまでに限られます。水門式エレベーターで、上下しながら進んでいきます。

※今回のツアーでは、カリブ海側から運河を通航してガットン湖にて引き返します。

パナマ運河クルーズの解説

◎ヨーロッパの火薬庫 ← オスマン帝国の弱体化・バルカン諸民族の独立要求・列強の思惑などから一触即発

- A. 24 (3 C 政策) × 25 (3 B 政策)
B. 26 × 25 (普仏戦争, モロッコ事件)
C. 27 (パン=スラヴ) × 28 (パン=ゲルマン)
D. 29 × 30 (“未回収のイタリア” 問題)

1908年：奥がボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合 (×大セルビア主義)

12年：31 の結成 (+ロシア) … セルビア・モンテネグロ・ブルガリア・ギリシア

12年：第1次バルカン戦争 (→ 32 敗北) } 14年 6/28：サライエヴォ事件

13年：第2次バルカン戦争 (→ 33 敗北) } → 7/28：宣戦布告

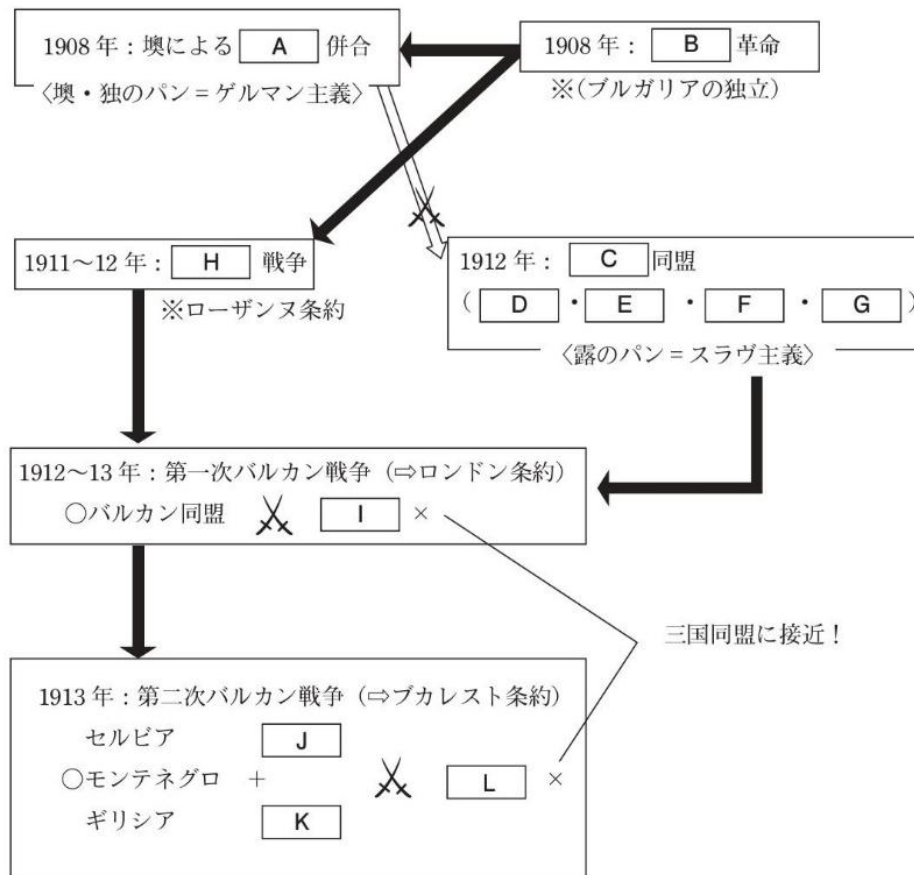


2学期 第8講②

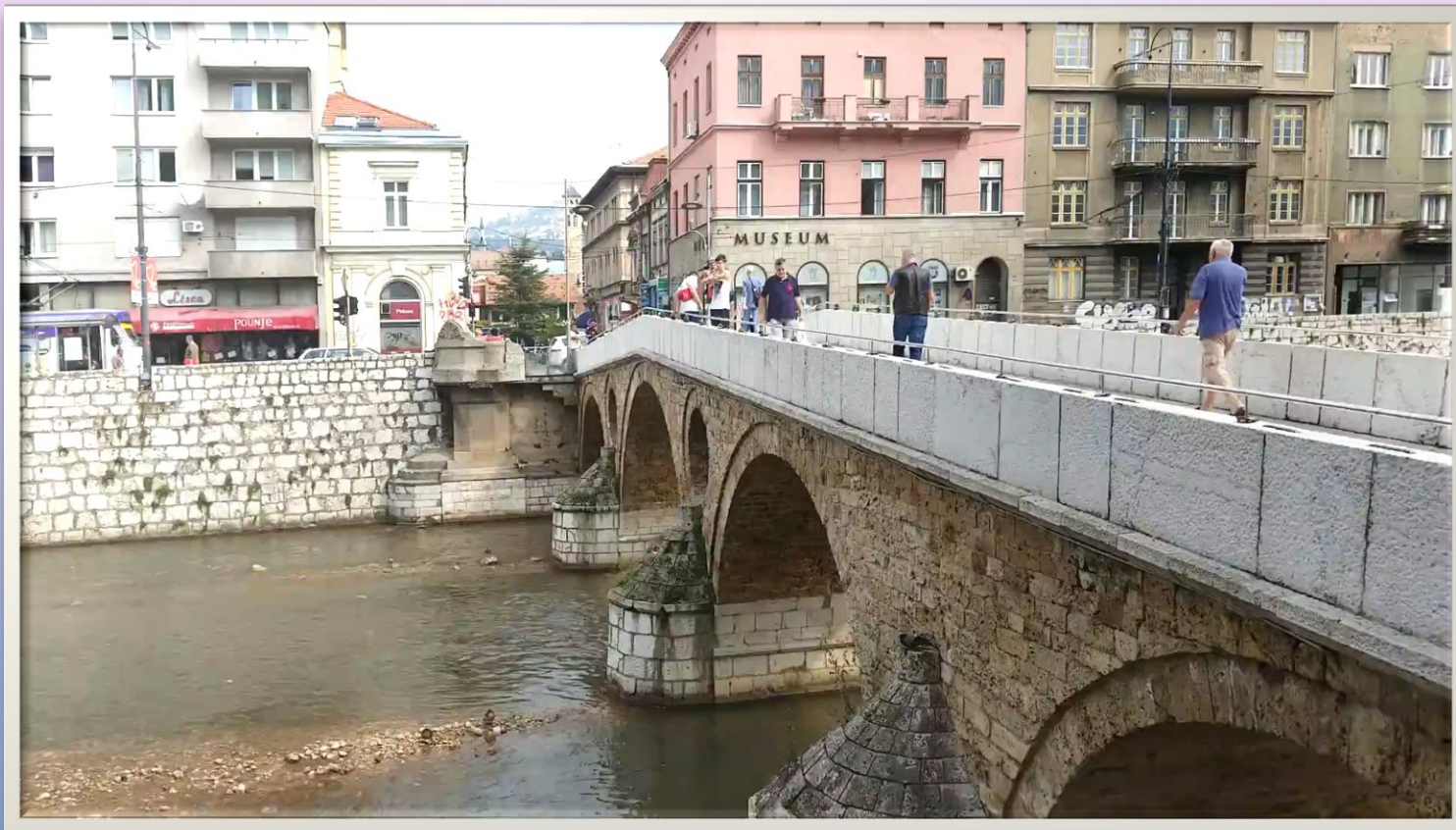
第一次世界大戦と
ヴェルサイユ体制の成立



■第一次世界大戦前夜のバルカン問題



1914年6月28日：サラエヴォ事件



§33：第一次世界大戦

④第一次世界大戦の動向（1914.7.28～1918.11.11）

- 1914.06.28： ① 事件（ボスニアの首都）… ② の国恥記念日
 [② 人青年がオーストリア皇位継承者フランツ＝フェルディナント夫妻を暗殺]
- 07.28：オーストリアの対 ② 宣戦
- 08.03：ドイツが ③ の中立侵犯 ⇒ イギリスの対独宣戦布告
 ～ドイツによる「シュリーフェン＝プラン」（まず西部戦線，勝利後，東部戦線へ）の実行・挫折
- 08.23：日本が独に宣戦（⇒ドイツ権益の ④ 省に進出）… ⑤ を理由に参戦
- 08.26： ⑥ の戦い…ドイツのヒンデンブルク将軍が露を破る
- 09.05： ⑦ の戦い…仏（ジョッフル将軍）がドイツ軍の進撃を食い止める ⇒ 西部戦線は膠着状態に
- 1915.04.22：イーブルの戦い…ドイツが英仏軍に対して，初めて大規模に ⑧ を用いた
- 05.07：英船ルシタニア号の撃沈…100人以上のアメリカ人が乗っていた
- 05.23：伊が奥に宣戦（⇒1915年ロンドン秘密条約，「未回収のイタリア」獲得を目指す）＝三国同盟を離脱
- 1916.02.21：ヴェルダン要塞の攻防（仏：ペタン将軍が防ぐ）…70万人の死傷者
- 05.31：ユトランド沖海戦（英の優勢）
- 07.01：ソンムの戦い（仏の反撃，英がはじめて ⑨ 使用）
- 1917.01.11：米大統領ウィルソンによる『勝利なき平和』演説
- 02.01：ドイツが“無制限潜水艦作戦”を宣言
- 03.11：ロシア二月革命（⇒ニコライ2世退位）
- 04.06： ⑩ の参戦（ドイツに宣戦）
- 1918.01.08：米大統領ウィルソン『十四カ条』を発表 ←P.41参照
- 03.03：ブレスト＝リトフスク条約（ソヴィエト政府＋独・奥） *ロシア単独講和
 ⇒ 9月：ブルガリア 10月：オスマン帝国 11月：奥の降伏
- 11.03： ⑪ の水兵反乱 [=ドイツ革命（レーテを組織）]
 ⇒ 独帝ヴィルヘルム2世は ⑫ に亡命 ⇒ 11.10：ドイツ共和国の成立
- 11.11：ドイツ休戦協定（in コンピエーニュの森）⇒臨時政府の樹立 by 社会民主党：首相シャイデマン
 ⇒ × ⑬ （ドイツ社会民主党左派が分離）の蜂起
 ⇒ カール＝リープクネヒト（独）・ローザ＝ルクセンブルク（ポーランド）の活躍

■第一次世界大戦



■ が同盟国4カ国。太線は1917年時点での大まかな戦線。

- サラエヴォ事件の発生（1914.6.28）
- ドイツが中立国ベルギーを侵犯（1914.8）
- タンネンベルクの戦い（1914.8）：東部戦線はドイツ優位に。
- マルスの戦い（1914.9）：西部戦線は膠着へ。
- ヴェルダンの戦い（1916.2-12）：最大の激戦。
- ソンムの戦い（1916.6-11）：初めて戦車を使用される。
- ペトログラードでロシア革命が発生（1917.3，1917.11）
- ブレスト＝リトフスク条約（1918.3）：ドイツとロシア（ソヴィエト）が講和。
- キール軍港で水兵が反乱（1918.11）：ドイツ革命へ。

*第一次世界大戦の特徴…①新兵器の発明 ②新しい戦い方とその影響 ③秘密外交の利用

*挙国一致体制（非常事態を乗り切るために反対政党も加えて政府を支える体制）…英や仏にて



戦車



飛行機



潜水艦



毒ガス

第1次世界大戦の〈四大新兵器〉



機関銃



飛行船



塹壕戦

ドイツの 領土削減 と独立国

■ヴェルサイユ体制

ロマノフ家より



【詳 説】

ウィルソンの十四カ条 ①秘密外交の廃止 ②海洋の自由 ③通商の自由（経済障壁の撤廃） ④軍備制限 ⑤植民地問題の公正な解決 ⑥ロシアに関する民族問題を考慮した公正な解決 ⑦ベルギー領の回復 ⑧フランスの復興とアルザス・ロレーヌ2州の回復 ⑨イタリア国境の民主的解決 ⑩オーストリア＝ハンガリー帝国内の諸民族の自決 ⑪バルカン諸国の独立の保障 ⑫オスマン帝国領内異民族の自決、ダーダネルス海峡の開放 ⑬海港を有するポーランド国の再建 ⑭各国の政治的独立と領土保全を相互に保障するための国際機関の設立

■国際連盟への加盟・脱退

